

BEST AVAILABLE COPY

(19) Japanese Patent Office

(12) Registered Utility Model (Y2) (11) Registered No.

2587259

(24) Registered date

Heisei 10 (1998) October 16

(21) Application No.04-65452

(22) Filing Date: 1992 August 25

(73) Owner of U.M. Right

TERADA Shigeru

(72) Inventor

TERADA Shigeru

(54) [Name of Device]

Handy phone with facsimile function

[0001]

The handy phone of the present device is provided with a magnetic disc camera, thereby taking photographs of documents e.t.c. , and transmitting them.

[Brief Explanation of the Drawings]

【Figure 1】

Rear perspective view of the present device

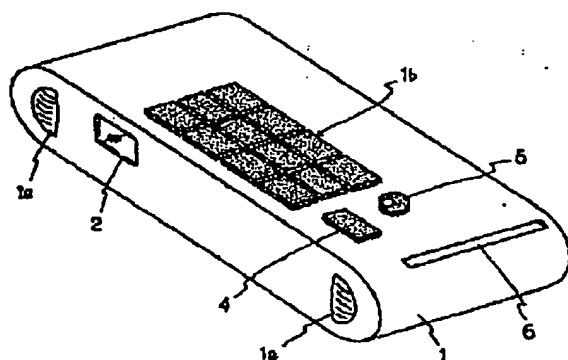
【Figure 2】

Front perspective view of the present device

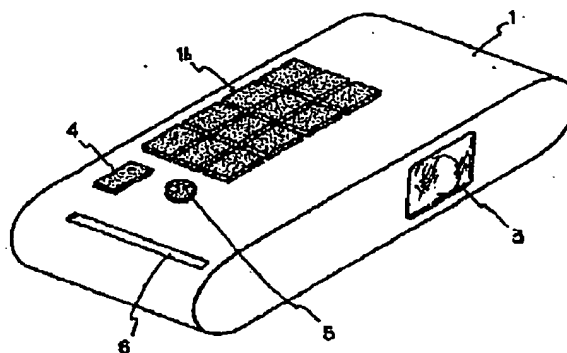
【Explanation of Reference Numerals】

- 1 body of the handy phone
- 2 finder
- 3 camera lens
- 4 shutter
- 5 start button
- 6 printer output unit

【Figure 1】



【Figure 2】



Statement of Relevance

The handy phone is provided with a camera lens, finder and a shutter.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案登録公報 (Y 2) (11)実用新案登録番号

第2587259号

(45)発行日 平成10年(1998)12月16日

(24)登録日 平成10年(1998)10月16日

(51)IntCl⁴

H 0 4 M 11/00

H 0 4 N 1/028

識別記号

3 0 2

F I

H 0 4 M 11/00

H 0 4 N 1/028

3 0 2

請求項の数3 (全 3 頁)

(21)出願番号 実願平4-65452

(22)出願日 平成4年(1992)8月25日

(65)公開番号 実開平6-62664

(43)公開日 平成6年(1994)9月2日

審査請求日 平成6年(1994)9月28日

審判番号 平9-9520

審判請求日 平成9年(1997)6月6日

(73)実用新案権者 592199559

寺田 茂

兵庫県神戸市灘区篠原北町3丁目3-24

(72)考案者 寺田 茂

大阪府大阪市生野区田島4丁目2-24

(74)代理人 弁理士 谷口 正信

合議体

審判長 松田 昭重

審判官 東 次男

審判官 酒井 伸芳

(56)参考文献 特開 平3-163949 (J P, A)

特開 平2-25143 (J P, A)

(54)【考案の名称】 ファックス機能付き携帯電話

(57)【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】携帯電話機本体に磁気ディスクカメラを内蔵して送信用書面の画像読み取り並びに磁気ディスクへの書き込みからなる情報入力手段を具備し、且つ入力情報を電気信号に変換する変換手段を備え、該電気信号を送信路を介して送信先のファックス機に送信し画像再生ならしめるファックス機能を持たせたことを特徴とするファックス機能付き携帯電話。

【請求項2】情報入力手段により入力した送信用書面の画像記録をプリントアウトする出力手段を具備したことを特徴とする請求項1記載のファックス機能付き携帯電話。

【請求項3】伝送されてきた電気信号を画像変換する変換手段と画像記録をプリントアウトする出力手段を具備したことを特徴とする請求項1、2記載のファックス機

能付き携帯電話。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本考案は、携帯電話に磁気ディスクカメラを内蔵したものであり、詳しくは当該カメラで書類等を撮影記録した後この記録を送信先のファックス機に伝送し得る機能を具備させたファックス機能付き携帯電話に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、携帯電話は外出先で手軽に電話交信出来る便利さから携帯電話の利用者が増え続けており、この需要に対しては各種タイプの携帯電話が開発市販されている。しかしながら、従来の携帯電話は軽量化、コンパクト化、送受信の感度性等に重点がおかれて種々の改良がなされており、いずれも音声の送受信しか

行えないのが実状である。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】又、外出先で意外と必要性を感じるのが、書類や写真などを遠く離れた相手に即座に送りたい場合における手軽なファックス送信の必要性であるが、現状はファックス機が設置する場所まで行って送信操作をしなければならず、特に営業活動などを行う者にとっては非常に面倒であり、それによる不都合も生じかねないものである。尚、携帯電話に小型化したファックスを内蔵することが考えられるが、ファックスを現存の携帯電話に適合すべく小型化軽量化するには技術的な問題を解消しなければならないのは勿論のこと、ファックスを小型化した場合には書面の読み取り部も小さくなるから、送付する書面も予め小さくする必要があり、そのために一々書面を縮小したり分割したりする手間や時間が係るなど実用性に欠けたものとなり、従来のファックス手段による書面伝送機能を携帯電話に内蔵することは実用的ではないと判断し得る。

【0004】本考案は上記の点に鑑みなされたものであって、磁気ディスクカメラの機能を利用して送信したい書面を磁気ディスクに入力情報として記録させ、当該情報を信号に変換して送信する手段を講じることで、簡単にファックス送信することが出来、且つ小型の携帯電話であっても十分にファックス機能を発揮し得る使用性に優れた実用的価値の高いファックス機能付き携帯電話を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するための本考案のファックス機能付き携帯電話は、携帯電話機本体に磁気ディスクカメラを内蔵して送信用書面の画像読み取り並びに磁気ディスクへの書き込みからなる情報入力手段を具備し、且つ入力情報を電気信号に変換する変換手段を備え、該電気信号を伝送路を介して送信先のファックス機に送信し画像再生ならしめるファックス機能を持たせたことを特徴とするものである。

【0006】

【作用】以上の如く構成された本考案の携帯電話は、外出先で或る書面をファックス伝送する場合、先ず電話機本体に内蔵した磁気ディスクカメラによって書類や写真等の伝送用書面を撮影すれば良く、撮影操作によって当該書面の画像読み取り並びに磁気ディスクへの画像書き込み入力が行われる。この入力手段によればどのような大きさの書面であっても一定の大きさに縮小した状態で書面を写真として画像記録することが出来、従来ファックスのような読み取り機構は不要であって、簡単に送信用画像を読み取り電気信号に変換することが出来る。

又、磁気ディスクに書き込まれた入力情報は信号変換手段により、無線乃至有線の伝送路上を走るデジタル信号等の電気信号に変換されるから、従来のファックス伝送と同様に相手方のファックスを呼び出し伝送路をつない

で送信操作を行えば良く、一方、送信先のファックス機は送られてきた信号を再度変換して画像を再生するから、受手側は携帯電話より送られてきた書面を即座に見ることが出来る。尚、携帯電話本体に小型のプリンター機能を付加することによって、磁気ディスクカメラで撮影した画像の入力状態をプリントアウト（印字出力）することで確認することが出来、又、他のファックス機から送られてきた信号を変換してプリントアウトにより画像の再生を行うことも可能である。

10 【0007】

【実施例】以下、本考案の実施例を図面に基づいて説明する。

【0008】図1は本考案の一実施例を示す斜視図、図2は本考案の一実施例を示す斜視図である。

【0009】図面において、1は携帯電話機本体で、通常の音声による送受信は勿論のこと磁気ディスクカメラを内蔵してファックス通信も簡単に出来るようにした電話機本体であって、従来の携帯電話と同様に電話機本体1の表出部に受話器部1a、ダイヤルボタン等の操作ボタン1bを各々配設している。

20 【0010】2はカメラ撮影用ファインダー、3はカメラレンズ、4はシャッターで、電話機本体1に内蔵した磁気ディスクカメラの各部材であって、ファックスで送りたい書面を（他のカメラと同様に）、ファインダーを覗いてカメラレンズ内にセットしたのちシャッターを押して当該書面を撮影すれば、電話機本体1内の磁気ディスクに入力情報として自動的に画像記録されるものである。尚、本考案の如く送信用書面の画像読み取り並びに書き込み手段を磁気ディスクカメラによって行うことは、送りたい書面を迅速に情報入力することが出来、而も何回でも磁気ディスクを使用することが出来るので、コスト面からも極めて有効が方法と言える。又、磁気ディスクに記録された情報は、ファックススタートボタン5によって送信可能な電気信号に変換し、ダイヤルボタンのボタン操作によって伝送路を介し相手先のファックス機に伝送するものである。

40 【0011】6はプリンター出力部であり、電話機本体1内に磁気ディスクカメラにより撮影した書面、即ち磁気ディスク上の画像記録をプリントアウト（印字出力）するプリンターが内蔵されており、出力部6より撮影した記録をプリントアウトすることで相手先にどのような書面が伝送されたか若しくはどのような状態で伝送するかを確認することが出来る。又、上記プリンターはファックス受信用の出力装置として動作させることも出来、他のファックス機から送られてきた電気信号を再生変換して送信書面を画像再生した状態でプリントアウトするものであって、このプリンター機能を付加することによって、何処にいてもファックスを受けることが出来、より一層実用的価値を高めるものである。

50 【0012】又、本実施例では図示しなかったが、カメ

ラ用フラッシュを適宜位置に設けることで、より鮮明に書面を撮影することが出来、鮮明なデータとして送信先に伝送することが可能であり、又、データをカラーで送信するにはデジタル通信にする方が鮮明な画像として伝送し得るものである。尚、相手方のファックス機も磁気ディスクフロッピーを内蔵したものとすれば、通常のファックス送受信に比べて格段に送受信時間を短縮することが出来、情報伝達の迅速さや電話代のコスト減など、より効果的なファックス利用が図れるものとなる。

【0013】

【考案の効果】以上説明してきた如く本考案によれば、送信したい写真や書類等の書面を一旦磁気ディスクに入力情報として記録し、当該データをデジタル信号等の電気信号に変換して伝送する手段を講じることによって、携帯電話の大きさであってもファックス機能を持たせることが出来るようにしたものであり、送信操作もカメラ

撮影及びボタン操作だけで済むから非常に使い易く、ファックス機能を付した本携帯電話は実用性にも優れ、その商品的価値は極めて高いと言える。

【図面の簡単な説明】

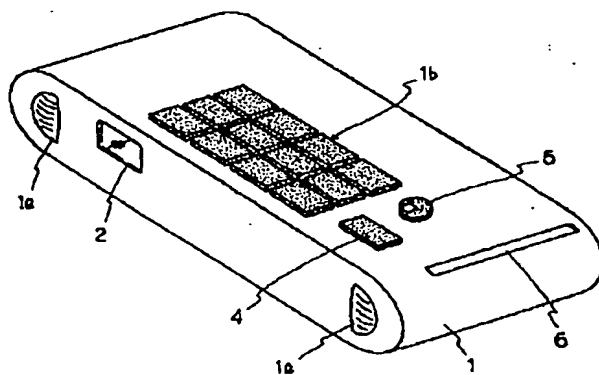
【図1】本考案の一実施例を示すファインダー側の斜視図。

【図2】本考案の一実施例を示すカメラレンズ側の斜視図。

【符号の説明】

- 10 1 電話機本体
2 ファインダー
3 カメラレンズ
4 シャッター
5 スタートボタン
6 プリンター出力部

【図1】



【図2】

